

人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等） 1 学年	実施時期 平成 27 年 7 月 8 日（水）
テーマ 福祉講話（障がい者の方のお話） 地域に住む仲間として、障がいのある人やその家族の苦悩などを理解する 思いやりの心を育て、福祉への理解と関心を深める 地域福祉に貢献できる人材を育成する	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 1 人権に対する正しい理解を深めること (対応する番号に を記載する。複数選択可) ② 人権感覚を高めること 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」 3 自尊感情を育てること	
内容 リアンの会 さんを中心に、障がい者の生活の様子を伺う。 1. 全体会：静岡県立吉田特別支援学校の運動会の様子の DVD 上映 2. 分科会（各クラスに分かれ、それぞれ 10 分程度で交代する） A：リアンの会 さん親子、 さん親子の講話 B：盲導犬の接し方を学ぼう C： さん、 さんから障がい者のための防災マニュアルを学ぶ D： さん（弱視の方）とその仲間 2 名からの講話	
実施後振り返って ・生徒の様子・感想・変化など 障がい者とほとんど触れ合うことがない生徒たちが車椅子の体験をしたり、生活の様子を伺ったりして障がい者の生活を少し身近に感じる事ができたと思う。また講話に来てくださった親子の方々、弱視の方は皆さん笑顔で生き生きと話をしてくださり、「障害を持ってかわいそうだと思っていたが笑顔でとても明るく生きていて、元気をもらった」と感想を持った生徒は多い。 ・実施した教員の感想・意見 車椅子体験では「怖さを感じるためにスピードを出してみしてほしい」とアドバイスを受け、「車椅子に乗っている人の立場になって押す」必要性を、体験を通して学ぶことができた。 さん親子は障がい者向けに作られた学用品を紹介してくださった。そのような工夫された学用品から、「人を助ける、人の役に立つ仕事というのは、医療などの直接的なものに限らず間接的にたくさんある」という話をしてくださり、強く印象に残った生徒が多かった。「自分ができる社会貢献とは何か」を考える大変よい機会になった。	